



成田 あれ・これ



令和8年7月号第373号

発行：一般社団法人成田市観光協会
成田市花崎町839
0476-24-3198

成田祇園祭 7/10(金)~12(日) 三百年の歴史を誇る初夏の風物詩

成田祇園祭は、成田山新勝寺のご本尊不動明王の本地仏である奥之院に奉安された「大日如来」に五穀豊穡・万民豊楽・町内安全を祈願する「成田山祇園会」と、成田山周辺の町内が一体となり行われる「成田祇園祭」があり、約300年の歴史があります。

成田祇園祭は、成田山祇園会期間中(令和8年は7月7日~12日)の金・土・日の3日間(令和8年は10日~12日)に開催され、成田の街はお祭りムード一色に染まります。成田山の御輿と豪華絢爛な山車・屋台が賑やかなお囃子の音色や威勢の良い掛け声と共に、成田山へ続く参道を中心に巡行します。本年の当番町は田町、警護は東町です。【お問合せ先】(一社)成田市観光協会 TEL 0476-22-2102

★成田祇園祭みどころ★

10日(金)◆13:30~安全祈願、鏡開き、山車・屋台競演(総踊り)【成田山大本堂前】

11日(土)◆9:00~山車・屋台競演(総踊り)【JR成田駅前広場】

12日(日)◆13:00~山車・屋台総引き【門前~薬師堂】

17:00~山車・屋台競演(総踊り)【成田山大本堂前】



★成田山祇園会★

◆成田山奥之院特別開扉【光明堂裏】

7日(火)~9日(木) 5:30~16:00
10日(金) 5:30~20:00
11日(土)~12日(日) 5:30~22:00
(時間は情勢による)

光明堂の後方にある奥之院の洞窟が特別に開扉され、ご本尊大日如来をお参りすることができます。

◆天国宝剣加持【光明堂】

7日(火)~12日(日) 8:00~16:00

成田山開山の祖、寛朝大僧正が、朱雀天皇より授かった天国宝剣。

あまくにのほうけん

金襴の袋に納められた宝剣が、僧侶の手によって参詣者の身体にお加持され、

無病息災を祈願します。霊験あらたかな成田山第一の霊宝に直接触れる機会は、祇園会の期間のみとなります。【お問合せ先】成田山新勝寺 TEL 0476-22-2111 (8:00~16:00)



成田山書道美術館「読んで、観る」

文字を素材とする書作品は、多くの意味内容が表現されている。書き手自身の言葉や自詠の歌、好む文字や内容に共感する詩や歌など、選文は書き手の人間性が如実に現れる。一点ずつ内容を読みながら作品鑑賞を楽しんでいただく展覧会。

【日 時】 6月23日(火)～8月9日(日)

【休館日】 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日休館。)

【お問合せ先】 成田山書道美術館 TEL 0476-24-0774

千葉県立房総のむら【実演】機の手仕事

糸染めから布を織り上げるまでの様々な工程を実演します。日によって実演内容や場所は変わります。主に木綿を使用します。

【日 時】 7月5日(日)11時～12時/13時15分～15時15分 【実施場所】 下総の農家 機小屋

【開館時間】 9時～16時30分 【休館日】 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日休館。)

※7月1日(水)から、「夏休み体験」の予約受付を開始いたします。

【お問合せ先】 千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333

成田祇園祭あれこれ

成田祇園祭は、成田山新勝寺のご本尊「不動明王」の本地仏である「奥之院 大日如来」の祭礼である、成田山祇園会にちなみ開催されてきました。

成田山祇園会は、享保6年(1721)には既に行われており、約300年の歴史があります。当初は、成田山で管理する湯殿山権現社を中心とする祭礼として執り行われていました。湯殿山権現社とは、現在のJR成田駅参道口(東口)交番の脇にある権現山と呼ばれる広場の一角にある小さな祠のことで、遠く山形県にある出羽三山の一つである湯殿山の流れをくんでいます。祇園祭初日の夜、御輿が権現社を御旅所として一泊します。翌朝、御輿とすべての山車・屋台が権現社に集合して総踊りが行われます。この催しは、祇園会が古くは湯殿山の祭礼として執り行われていた故事にちなんでいます。

そして、時代の変遷とともに大日如来の祭礼へと移り、古くは大日如来のご尊体を捧げ持ち、各町内を渡御していました。今日では、成田祇園祭が開催される3日間、大日如来をご尊体とした成田山の御輿の渡御と併せて、成田山とその周辺9町内、合計10台の豪華絢爛な山車・屋台が、賑やかなお囃子の音色や威勢の良い掛け声とともに、成田山へと続く参道を中心に巡行します。

成田祇園祭の期間中、成田の街はお祭りムード一色に染まり、若者達の掛け声と熱気に包まれます。成田祇園祭の特徴は、お囃子にあり！江戸の祭りで奏でられる江戸囃子と、千葉県の佐原(香取市)の祭りで奏でられる佐原囃子の両方が演奏されます。

ひとつの祭りに異なる囃子が演奏されるのは全国的にも非常に珍しいということであり、日本三大囃子のうちの江戸囃子と佐原囃子の音色を一度に楽しめるのも成田祇園祭ならではのといえるでしょう。江戸囃子と佐原囃子は、楽器の編成や曲調が異なるので、聞けばすぐに違いが分かるはずです。坂を駆け上がる時は威勢よく、下る時はゆったりと、山車の運行に合わせた曲目が演奏され、祭りに華をそえます。山車がすれ違うときに繰り広げられるお囃子の競演も面白いですよ！



「お祭りが終わったその日から、来年のお祭りの日までの日数を数えて待つ」なんて言われているほど、成田の人達はお祭り好き。山車・屋台を出す町内の人たちにとって祭りは生きる張り合いで、心のよりどころになっています。

成田には昔ながらの風景を残した素晴らしい街並みがありますが、風景だけでなく、人々の中にもしっかりと歴史や文化が受け継がれているのです。

☆イベント等の関連情報については、FEEL成田(<https://www.nrtk.jp>)をご覧ください。☆